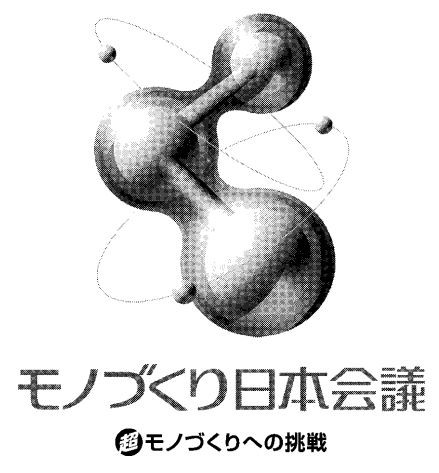


NEDO先導研究プログラム成果報告会

シーズ発掘と社会実装に向けた発展的展開

第27回新産業技術促進検討会

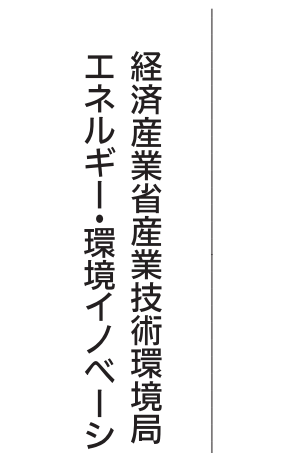
モノづくり日本会議と新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)は2月20日、都内で第27回新産業技術促進検討会「NEDO先導研究プログラム成果報告会 シーズ発掘と社会実装に向けた発展的展開」を開催した。先導研究から実用化・社会実装につながるNEDOの各種制度を報告した上で、先導プログラムの参画事業者から実用化・社会実装に向けた産学連携での成果活動の状況が報告された。



あいさつ
NEDO理事
久木田 正次氏
引き続き研究開発を主導



先導研究プログラムの目的は国家プロジェクトに向けた研究シーズの発掘だ。これまで200余りの研究開発テーマを採択し、そのうち4割強を国家プロジェクト化など次の研究フェーズへ移行させてきており、引き続き民間単独で実施困難な研究開発をNEDOが主導していく。



経済産業省産業技術環境局 エネルギー環境イノベーション戦略室室長
梅原 徹也氏
コストの引き下げ焦点に



NEDOイノベーション推進部主幹
伊東 賢宏氏
24%が製品化・実用化段階

先導研究プログラムは国家プロジェクト化を目的としたものであるが、それ以外にも約24%が製品化または実用化段階に至るなどの成果をあげている。政策的課題、

来年で降ロケット発射へ

約20年前、NEDOの若手研究員らから研究が始まった。2021年に降ロケットを飛ばす。デトネーションエンジンの開発促進。デトネーションエンジンでは、急激な圧縮による化学反応を起すことで連続的に燃焼させる。宇宙空間でどのようにデトネーションが起きるか、燃焼時の燃料を瞬間的に燃焼し加圧する。ロケットエンジンと同様に音速以上の速度で燃焼させる。デトネーションエンジンの開発促進。デトネーションエンジンの開発促進。デトネーションエンジンの開発促進。



名古屋大学 教授 笠原 次郎氏
デトネーションエンジンの研究開発

トリリオンノード・エンジンの研究開発

先導研究では1円未満のセンサーノードが稼働する。IoTアプリの開発促進。トリリオンノード・エンジンの研究開発。トリリオンノード・エンジンの研究開発。トリリオンノード・エンジンの研究開発。



東京大学 名誉教授 桜井 貴康氏
トリリオンノード・エンジンの研究開発

α型酸化ガリウム高品質自立基板の研究開発

当社(京都市西京区)は、企業とも連携して、α型酸化ガリウムを用いた高品質自立基板の研究開発。α型酸化ガリウムを用いた高品質自立基板の研究開発。α型酸化ガリウムを用いた高品質自立基板の研究開発。



FLOS FIA 営業部部長 井川 拓人氏
α型酸化ガリウム高品質自立基板の研究開発

IoT社会を支える分散型独立電源の技術開発

IoTセンサーの普及。安全・低コスト材料発見。分散型独立電源の技術開発。分散型独立電源の技術開発。分散型独立電源の技術開発。



物質・材料研究機構 主任研究員 高際 良樹氏
IoT社会を支える分散型独立電源の技術開発

正浸透膜法を用いた革新的省エネ型水処理技術の開発

従来の蒸発法は造水エネルギー原単位が高い。早期の実用化を目指す。正浸透膜法を用いた革新的省エネ型水処理技術の開発。正浸透膜法を用いた革新的省エネ型水処理技術の開発。正浸透膜法を用いた革新的省エネ型水処理技術の開発。



神戸大学 教授 吉岡 朋久氏
正浸透膜法を用いた革新的省エネ型水処理技術の開発

先導研究の必要性と役割

プロジェクトを効率的に行い、短期間で実用化。知識・技術の集約拠点を。先導研究の必要性と役割。先導研究の必要性と役割。先導研究の必要性と役割。



東京工科大学教授 片柳研究所所長(東京大学名誉教授) 香川 豊氏
先導研究の必要性と役割

「モノづくり日本会議」は、2007年9月に設立した「モノづくり推進会議」での活動を土台に、広域企業ネットワークや他機関との連携を活用し、日本のモノづくり産業の強化に役立つ実践的な勉強会・シンポジウムなどのイベントや交流会などの活動を展開しており、日刊工業新聞社が事務局を務めている団体です。...